

市立中学生等の海外派遣

派遣の目的

さいたま市立中学校等に在籍する生徒を海外に派遣し、英語学習や国際理解への興味・関心を高め、コミュニケーション能力をはぐくむとともに、国際交流及び国際親善に資するために実施しています。

派遣先 ニュージーランド・ハミルトン市

派遣期間 夏季休業中の10日間

派遣人数及び学年

市立中学校等に在籍する生徒(中等教育学校にあっては、前期課程の生徒に限る。)で、原則として第3学年の生徒 合計67名以内



選考

募集期間内(4月)に各中学校等で募集があります。
校内で選考の上、派遣候補者を決定します。



派遣の内容

- (1) 現地の学校で、授業への参加や相互文化紹介を実施します。
- (2) 現地での滞在は、ホームステイです。
- (3) 市長表敬訪問、市内視察等も計画しています。

さいたま市教育委員会 学校教育部 教育課程指導課 国際教育係

住所 : 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号

電話 : 048-829-1662

FAX : 048-829-1990

E-Mail : kyoikukateishido@city.saitama.lg.jp

派遣生徒の言葉



(「さいたま市立中学校等国際交流事業報告」より抜粋)

派遣生徒である私たちは、出国前の研修で「日本文化について何か説明できるように準備しておくこと」と言われていました。これまでも度々学校などで、日本の文化について考えたり、発表したりする機会はありました。ただ、私は正直なところ、日本の伝統や文化になんとも飽きていたような気がします。日本といえば、相撲、寿司、着物、武道など、いつも同じようなことが挙げられるし、そういったものは、今の普段の自分の生活にあまり関わりがないと思っていたからだと思います。

でも、ニュージーランドへ行ってみると、私はやはりニュージーランドの習慣や行事、伝統的な歌や踊りが気になりました。ホストファミリーや学校の生徒たちと仲良くなりたいと思った時、相手がどんな人なのか、どんな考え方をするのか、どんなことが好きなのかなどを知りたいと考えました。その国の人たちがどういうものに囲まれて、何を大切にしているのかを知ることが、仲良くなる第一歩なのだと感じました。

自分の国の文化を理解して誰かに伝えられるようになること、相手の国の文化に興味を持ち理解しようとする、それができて初めて、国を越えてお互いを尊重した温かい関係を築けるのだということを、この経験を通して学ぶことができました。

今回の派遣で、たくさんの出会いと学びを得ることができました。ホストファミリーや現地の先生、生徒の皆さん、一緒に行った各校の友だち、引率して下さった先生、サポートして下さった全ての方に感謝しています。本当にありがとうございました。

8月3日、この日は私にとって一生忘れることのない日となりました。「Come here.」とホストファザーに呼ばれ、寒さと暗さに驚きつつ外に出ました。すると、ホストファザーに「ニュージーランドは空気がとてもきれいだから星もよく見えるよ」と言われ、空を見上げました。そこに広がっていたのは、今まで見たことのない数の星々でした。一つ一つの星が強く光を放っており、知っている星座を見つけるのに苦労するほどでした。それに加え、日本ではあまり見ることのできない天の川もハッキリ見ることができました。『天の川って本当に川なんだな』と感動していると、「事前に送られてきた書類に星が好きって書いてあったから」とホストファザーが言いました。覚えていてくれていたのだと、とても驚きました。後から他のホストファミリー達もやってきて「星が見えやすいように家の電気全部消してきた!」と言いました。ホストファミリー達の気遣いが嬉しくて、冬の寒さを忘れる程に心が温まっていくのを感じました。

ニュージーランドでの10日間は私に『たとえ人種や話す言語が異なっているとしても繋がりあえる』ということと、『伝えたい、知りたいという気持ちがあれば、お互いを理解しあうことが出来る』ということを教えてくれました。

最後に、私はこの海外派遣を通して、さらに英語を学びたいという気持ちが強くなりました。いつかまた、ニュージーランドに訪れ、成長した英語を使って、自分が未熟だったことで伝えきれなかった感謝の気持ちをホストファミリーに伝えたいです。

